

平成 29 年度事業方針

平成 29 年度は、一般財団法人に移行後 5 年目を迎えるが、事業目的の達成に向けた諸活動を積極的に展開いたしてまいります。

当研究センターで実施の「植物工場」事業は、消費者の「食」に対する安心・安全志向や天候不順・異常気象などによる供給不安また、原発事故による放射能に汚染された地域における農業の創出などの社会的要請に応えるために、「植物工場」の第六次産業化を検討し推進のための具体的な提案をいたすものです。

具体的には、「農商工専門委員会」を設置し「植物工場」産業化のための調査研究活動ならびに普及・啓蒙活動に取り組んでおります。当該委員会が初期の目的として掲げた啓蒙活動は、着実な成果を生み「植物工場」に対する産業界ならびに消費者の関心は深まりを見せてきております。他方、産業界での栽培方法・栽培技術、施設・設備などの研究開発が進み、安心・安全な「植物工場」生産の野菜に対する社会的評価は市場への影響を拡大いたしました。

しかし、消費者の欲求に応えるには多くの課題を抱えております。とくに、価格面での課題解決が喫緊の事案として解決が急がれております。収益対費用効果比の最大化対策が求められ採算性の確保にはまだまだ解決すべき課題も多くこれから研究開発に大きな期待が寄せられております。

平成 29 年度当研究センターの事業活動は、「農商工専門委員会」活動を中心 「植物工場」の当面する課題解決に迫ると同時に、成長発展を促進するための情報収集・分析を積極的に展開いたしてまいります。他方、森康裕研究員が対外主催セミナー等の講演活動を通して研究成果の発表を行うことや書籍編集・出版ならびにホームページを利用しての情報発信を通して広く普及・啓蒙活動を実施いたします。さらに、個別企業を対象にした具体的な「植物工場」の経営面からのコンサルテーションにも注力いたしたいと思います。

以上のはかに、「植物工場」栽培技術を応用して開発されました「インビトロフラー」の普及活動に本年度は本格的に取り組んで参りたいと思います。

また、昨年度より新規事業として活動を開始いたしました、「高齢者医療・福祉問題を解決する事業展開や疾患予防・対処法」に関しましては、株式会社日総研出版と協同して一般社団法人看護＆介護人づくり協会（理事長高橋啓子）のセミナーの企画立案に参画いたし、本年度、医療従事者を対象にしたセミナー（①接遇センスを磨く②ていねいな言葉遣い）を実施いたします。

なお、「文理シナジー学会」とのコラボレーション活動は本年度も継続して実施いたします。